



2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 愛媛県・松山市 】

学校名【 松山市立小野小学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	第5学年 135名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (体育)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 (総合的な学習の時間)</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<p>○ 東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機とし、多様性を尊重し、共生社会の実現や国際社会の平和を願う心情を育てる。</p> <p>○ オリンピック・パラリンピックへの競技にも興味・関心を高め、スポーツがもつ価値について理解を深める。</p>
5 取組内容	<p>(1) パラスポーツ ボッチャについて知ろう！</p> <p>パラスポーツであるボッチャについて講師の方を招いて話を聞いた。クイズを通して、楽しくボッチャについて知ることができた。特に、ボッチャは重度の障がいのある方もできることを知り、障がいのあるなしに関わらず誰でも楽しむことができるスポーツだと理解を深めることができた。</p>
	 

	<p>(2) パラスポーツ ボッチャをやってみよう！ 3人の講師の方を招いて初めてボッチャを体験した。ルールについて説明を受け、得点の数え方、投げ方など実際に体験しながら知ることができた。ジャックボールに近づく度に歓声があがり、一投一投盛り上がる姿が見られた。普段運動が苦手な児童も生き生きとした表情で楽しく活動に取り組んだ。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>ボッチャの学習をしたことにより、パラリンピックのスポーツであるボッチャについて興味・関心を高めることができた。児童からも、パラリンピックでボッチャが行われたら見てみたいという感想があった。また、ぜひ障がいのある方ともボッチャを一緒に楽しみたいという意見もあった。この学習を通して、共生社会の実現やスポーツの価値について深く考えることができた。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>担当者と事前打ち合わせを細かくして当日臨むことができた。また、体験だけでなく、座学を取り入れることによって、体験にとどまることなく、知識として児童の学びにつなげることができた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今回はボッチャの講師を愛媛県内で探してもらったが、専門としてボッチャを指導できる方がなかなか見つからなかった。指導員の確保が課題である。 ○ 児童は他のパラリンピック種目にも興味をもつことができた。しかし、他の種目を指導できる方が県内にはあまりいないのが現状である。今後パラリンピックの種目を指導できる人材の十分な確保が課題である。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>機会があれば、今回のような形で実施したい。</p>